



船越小だより

学校だより第23号
南城市立船越小学校
令和7年12月23日



「一人一授業研 校内研の実践」



本校では、校内研究の中心に体育科学研究を位置づけ、子ども一人一人が安心して学べる業づくりを進めています。研究のサブテーマを「児童の困り感に応じた授業づくり及び協働的な活動を通して」と定め、運動が得意な子も苦手意識をもつ子も、それぞれの思いやつまずきに寄り添った指導の在り方を探究しています。授業では、児童の困り感を丁寧に捉え、手立てや場の工夫を行うとともに、仲間と関わり合いながら課題に挑戦できる協働的な活動を大切にしています。その一環として、全教職員が「一人一授業研究」に取り組み、実践と振り返りを積み重ねることで、授業改善を図っています。体育の学びを通して、挑戦する楽しさや支え合う喜びを実感できる学校づくりを、今後も進めてまいります。



「3年生は校外学習で県立博物館へ」

12月19日（金）に3年生は校外学習として県立博物館を訪れ、昔の人々のくらしや、時代とともに変わってきた生活の様子について学びました。館内では、昔の道具や住まい、衣服などの展示を見学し、「今のくらしとどこがちがうのだろう」「昔の人はどんな工夫をしていたのだろう」と、熱心にメモを取る姿が見られました。実物にふれることで、教科書だけでは気づきにくい人々の知恵や努力を感じ取ることができました。今回の学びを通して、くらしのうつりかわりに目を向け、今の生活のよさや大切さについても考える貴重な機会となりました。

